

## 昭和62年度大学別実施報告について

ここでは、昭和62年度の放送利用の大学公開講座に関する各実施大学及び番組制作・放送機関(放送局)からの報告を、大学別に掲載した。この報告の内容は、昭和63年2月18日(木)と19日(金)の両日に開催された第5回放送利用の大学公開講座シンポジウムの第1セッションにおける報告のために、各大学及び放送局によって事前に用意され、センターにおいて取りまとめ、シンポジウム当日に配布したものである。

報告は各大学分とも1.実施報告と2.制作報告、3.講座の概要(表)からなる。実施責任者報告は実施大学の実施責任者によるもので、(1)放送公開講座の大学における位置づけと放送局その他の関係機関との協力関係、(2)テーマの選定とそのねらい、(3)番組、印刷教材、学習指導の関連づけ、(4)番組の学習効果、(5)印刷教材の作成過程、(6)学習指導の実施状況、(7)「大学教育の地域社会への開放」に果たす役割、(8)「大学の授業への活用」の状況と可能性、(9)実施上の問題点と今後の課題等、についてまとめている。また、科目担当主任講師の所見についても掲載してある。

制作責任者報告は、放送局の制作責任者によるもので、(1)番組制作の基本方針と大学その他の関連機関との協力関係、(2)番組の企画、構成及び制作上の工夫、特色等、(3)番組の視聴状況と成果(評価・反応)について、(4)実施上の問題点と今後の課題等、についてまとめている。また、番組制作担当者の所見についても掲載してある。

さらに、講座の概要では、(1)科目の概要、(2)各科目の構成、(3)スクーリング、(4)再視聴、それぞれについて表の形で示してある。